

公益社団法人日本口腔インプラント学会は

第 48 回学術大会において以下を宣言します

公益社団法人日本口腔インプラント学会 理事長 宮崎 隆
第 48 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 大会長 馬場俊輔

健康長寿社会の実現に向けて！

日本口腔インプラント学会が成すべき歯科医療イノベーション

大阪宣言

歯や歯周組織の喪失に伴う病態変化や障害は、咀嚼機能や発語機能の低下だけでなく、全身に多くの影響を与えていることが明らかになっています。そのなかでインプラント治療は、失った口腔機能を回復できる有用な治療として広まり、多くの患者が口腔の健康を取り戻しています。さらに、超高齢社会において患者のQOLの向上に寄与してまいりました。

その一方で、患者や施術を行った歯科医師の高齢化により、術後の継続的な口腔機能の管理や介護現場での対応が十分に確立しているとは言えない現状があります。

我々は、第 48 回学術大会を通じて、超高齢社会に対してその責任を自覚し、健康長寿社会の実現に向けて、広く国民、患者の声に耳を傾けながら、歯科医療従事者のみならず多職種連携・協働を強化し、多様な視点を取り入れてまいります。それによって今後ライフステージに応じた治療システムを確立するとともに、口腔機能の継続的管理を目的とした治療指針を策定してまいります。

ここに、インプラント治療を含めた口腔リハビリテーション治療によって、健康寿命のさらなる延伸に向けて、歯科関係学会のなかで最大規模である本学会が中心となり、歯科医療イノベーションを起こすことを宣言します。